

# Panasonic®

## 取扱説明書 詳細操作編



7V型ワイドVGAモニター 2DIN AVシステム  
ワンセグ/CD内蔵 SSDカーナビステーション

 Strada

品番 **CN-E200D**

**ご使用前に、「安全上のご注意」(☞『基本操作編』P.4~P.7)を必ずお読みください。**

このたびは、パナソニック製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

- 説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
- 保証書は「お買い上げ日・販売店名」などの記入を確かめ、説明書とともに大切に保管してください。

※SSDとはSolid State Device(ソリッドステートデバイス)の略で、地図データの記録媒体として(大容量)フラッシュメモリーを使用したものです。

当社サイトで「ユーザー登録」をしてください

 <http://panasonic.jp/navi/>

- ユーザー登録と同時に、自動的に「ナビcafe」の会員登録が行われ、インターネットでの各種サービスをご利用いただけます。

 COMPACT  
DISC  
DIGITAL AUDIO

 VICS®

 MAPCODE®

 SD™

 JPG

Made for



iPod



iPhone

保証書別添付

# 本機の特長

## 情報豊富で頼れるナビ案内

8 GB 地図を搭載し、詳細な地図情報をはじめ多彩な情報を収録しています。



## 優れた操作性

よく使う機能はランチャーに登録して、ショートカット操作することができます。




## 充実したオーディオ機能

CD、iPod、USB、SDメモリーカードなどさまざまなメディアに対応し、オーディオを楽しむことができます。



# 本書の読みかた

本書では、用途別に下記のマークを使用しています。本書をお読みになる前にご覧ください。

 P.3 参照していただきたいページ番号を表します。

---

**はじめに** P.7 **4** 文字をタッチして入力する。  
ナビゲーションシステムについて……………10  
各部のなまえとはたらき……………10

 P.30

**もくじへ** **さくいんへ** 3


本書内の参照ページをクリックすると、該当ページに移動します。

各ページ下部のアイコンをクリックすると、「もくじ」「さくいん」に移動します。

---


**現在地** など パネル部のボタンを **白地に黒文字** で表します。

**現在地** など タッチパネル部のボタンを **黒地に白文字** で表します。

 タッチパネル操作やパネル部の操作を表します。


**2**<sup>-1</sup> 操作の順番を表します。

(例) **1** **現在地** を押す、または **現在地** をタッチする。



(例) **2** 郵便番号を入力し、**検索** をタッチする。

**2**<sup>-1</sup> **2**<sup>-2</sup>



※本製品の仕様、画面表示、外観は、改良のため予告なく変更することがあります。

※本書に記載の寸法・質量はおおよその数値です。

※イラストや画面表示などはイメージであり、実際と異なる場合があります。

※当社サイトのURLは、予告なく変更することがあります。

# もくじ

本書の読みかた	3
もくじ	4

## はじめに P.7

ナビゲーションシステムについて	8
各部のなまえとはたらき	10
本機を起動する	10
モニターの角度を調整する	11
走行中の操作制限について	11
SDメモリーカードについて	12
CDやSDメモリーカードを入れる／取り出す	13

## ナビ機能の基本操作 P.15

地図画面の見かた	16
地図に表示される記号	18
地図の操作	19
モードの切り換えについて	21
ナビメニュー画面／設定メニューについて	22
自宅を登録する	26
地図から自宅／地点を登録する	27
右画面に地図／情報を表示する	28
おでかけ旅ガイド	29
文字入力のかた	30

## 目的地を探す P.31

目的地を設定する	32
----------	----

## ルートを探索する P.45

ルート案内時の注意点	46
ルート設定について	47
目的地／自宅までのルートを探索する	49
1ルート探索／複数ルート探索をする	50
ルートを変更する	51
再探索をする	55
迂回探索をする	56
ルート案内をストップ／スタートする	56
現在のルートを表示する	57
現在のルートを保存する	58
保存したルートを呼び出す／削除する	58
現在のルートを削除する	58
SDメモリーカードからルート探索をする	59

## 情報を見る・設定する P.61

登録地点の編集／見る	62
登録地点情報を全て書き出す／全て書き替える	66
登録地点情報を選んで書き出す／追加する	67
SDメモリーカードから地点を登録する	68
ecoドライブ情報について	70
GPS情報について	72
走行軌跡を使う	73
本機の接続状態を確認する	74

## VICSを利用する P.75

VICS情報(FM多重)について	76
VICS情報(FM多重)の文字情報を見る	78
VICS情報(FM多重)の図形情報を見る	79
VICS情報(FM多重)の緊急情報番組を見る	79
FM多重放送局を選局する	80
FM多重放送局をプリセット登録する	81
FM多重放送局をプリセット呼び出しする	82
VICS表示の設定をする	82

## 各種設定をする P.83

ランドマーク表示の設定をする	84
ルート案内の設定をする	85
音声案内の音量を調整する	89
地図の表示をカスタマイズする	90
地図ボタン表示の設定をする	94
ランチャーボタンの編集をする	95
平均速度を設定する	95
ルート探索条件の設定をする	96
セキュリティコードについて	98
バージョン情報を見る	100
地図更新について	100

## オーディオの基本操作 P.101

AUDIOモードの基本操作	102
AUDIO同時動作について	106
音の匠/DSPの設定をする	107
バランス/フェーダーの調整をする	108
音域の設定をする	108

## 音楽／ラジオを聞く P.109

CDについて	110
ラジオ(FM/AM)／交通情報について	111
SDメモリーカード／USBメモリーについて	112
iPodについて	114
AUXについて	116

## TV(ワンセグ)を見る P.117

TV(ワンセグ)について	118
TV(ワンセグ)の各種設定をする	126

## システム設定をする P.129

システム設定画面を表示する	130
画面の明るさを調整する	130
操作設定をする	131
案内音声割込設定をする	131
ステアリングスイッチの設定をする	132
お買い上げ時の状態に戻す(初期化)	133

## 必要なとき P.135

リビューカメラを使う	136
音声案内について	138
市街地図(詳5 m／詳12 m／詳25 m スケール)の収録エリア	139
表示できる施設	143
音楽ファイル作成時の留意点	145
さくいん	148



# はじめに

ナビゲーションシステムについて	8
現在地の測位について	8
準天頂衛星システム「みちびき」について	8
現在地を測位するまでの時間	8
GPSが受信できない環境について	8
現在地(自転車)マークのずれについて	9
マップマッチングについて	9
各部のなまえとはたらき	10
本機を起動する	10
電源を入れる	10
モニターの角度を調整する	11
走行中の操作制限について	11
走行中に制限される機能	11
SDメモリーカードについて	12
SDメモリーカードの取り扱い	12
CDやSDメモリーカードを入れる／取り出す	13

# ナビゲーションシステムについて

ナビゲーションシステムとは、地図上に目的地までのルートを登録することにより目的地までの道案内をするシステムのことで、

## 現在地の測位について

GPS(Global Positioning System)はアメリカ国防総省が配備を進めた人工衛星を利用した位置検出システムです。高度21,000 kmの宇宙にある3つ以上の人工衛星からの電波を受信し、三角測量の原理を利用して測位を行います。本機ではこのGPS衛星の電波を受信して現在地を測位します。

※GPS衛星はアメリカ国防総省により管理されており、故意に位置精度を落とすことがあります。

このようなときは、現在地がずれる場合があります。

## 準天頂衛星システム「みちびき」について

宇宙航空研究開発機構(JAXA)によって打ち上げられた、日本の準天頂衛星システムの初号機です。米国のGPS衛星に加え、日本の真上から電波を送る「みちびき」によって、受信の難しいビル街や山間部でも測位が可能になり、さらに測位の精度が向上します。

※現在、準天頂衛星システムは電波を受信できる時間帯が限られます。また、衛星側の都合により、精度が落ちたり・電波を利用できなくなることがあります。

## 現在地を測位するまでの時間

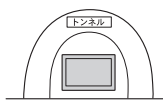
本機を取り付け後または車のバッテリー交換後、初めてお使いのときや、長時間ご使用にならなかったときは、現在地を表示するまでに15～20分程度かかることがあります。通常は電源を入れてから数分で表示します。

見晴らしの良い場所をしばらく走行し、現在地周辺の地図が表示されていることを確認してください。

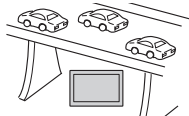
## GPSが受信できない環境について

次のような環境では、GPS衛星からの電波が受信しにくくなります。

- トンネルの中



- 高速道路の下



- 高層ビルなどの間



- 樹木の間



※同じ場所でも、次のような理由でGPS衛星の受信数が変動します。

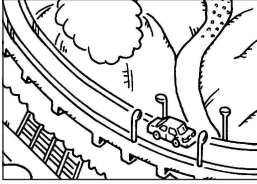
- GPS衛星は地球の周りを移動する周回衛星であり、時間によって位置が変わるため。
- GPS衛星の受信は、GPS衛星の周波数に近似した他の電波の影響を受けるため。
- 車内でご使用の機器(ETC車載器、DSRC車載器、無線機、レーダー探知機など)の妨害、または一部の車種に使用されている断熱ガラス、熱遮断フィルムなどにより電波がさえぎられ受信感度が悪化したり受信しなくなることがあるため。



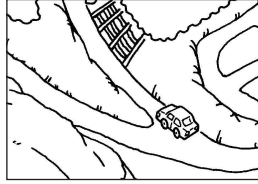
## 現在地(自車)マークのずれについて

現在地(自車)マークの位置や進行方向は、下記のような走行条件などでずれることがあります。GPS衛星からの電波をさえぎる障害物がない見晴らしの良い場所を、しばらく走行すると現在地の位置が補正され、正常に使用することができます。

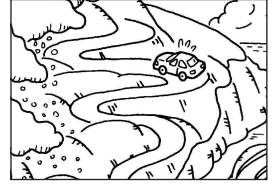
- 直線や緩やかなカーブの長距離走行



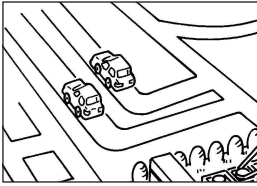
- 緩やかなY字路の走行



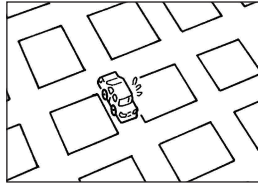
- S字の連続する道路の走行



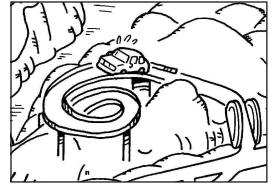
- 近くに似た形状の道路がある所の走行



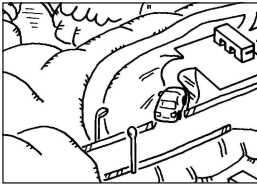
- 碁盤目状の道路の走行



- ループ橋などの走行



- 地図画面に表示されない道路、新設された道路、形状が変わった道路などの走行



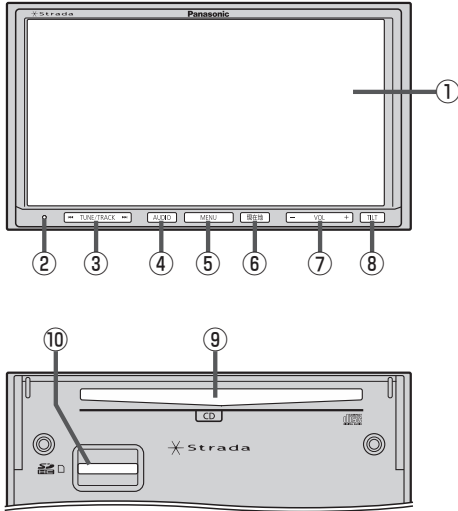
### お知らせ

エンジンを始動してすぐ走行した場合も、現在地(自車)マークの向きがずれることがあります。

## マップマッチングについて

現在地が道路以外(例えば川の中など)になった場合は、マップマッチングで誤差を補正し、近くの道路に現在地を表示させます。

# 各部のなまえとはたらき



- ① 液晶ディスプレイ(タッチパネル)
- ② リセットボタン  
折れにくい棒状の物などで押しと本機が再起動されます。
- ③ **◀ TUNE/TRACK ▶** ボタン
  - 短押しで以下の操作になります。  
曲/ファイル：選曲  
ラジオ(FM/AM)/TV(ワンセグ)：選局
  - 長押しで以下の操作になります。  
曲/ファイル：早戻し(◀◀)、早送り(▶▶)  
ラジオ(FM/AM)/TV(ワンセグ)：自動選局
- ④ **AUDIO** ボタン  
AUDIOモードに切り換えます。
- ⑤ **MENU** ボタン  
メニュー画面を表示します。 [P.22]
- ⑥ **現在地** ボタン  
現在地の地図画面を表示します。
- ⑦ **-VOL+** ボタン  
オーディオの音量を調整します。  
※AUDIO OFF時は操作できません。
- ⑧ **TILT** ボタン  
CD/SDメモリーカードの出し入れやモニターの  
角度調整をするときに押します。
- ⑨ CD挿入口
- ⑩ SDメモリーカード挿入口

## 本機を起動する

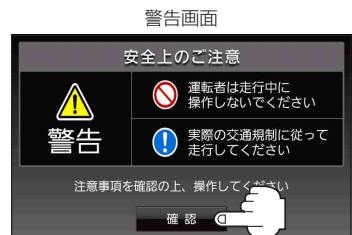
### 電源を入れる

#### 1 車のエンジンをかける。(ACCをONにする。)

：本機の電源が入ります。

※起動画面が表示されたあと、警告画面が表示されますので、警告画面の内容を確認して **確認** をタッチしてください。約10秒間何も操作しないと、警告画面は消去されます。

※セキュリティコード入力画面が表示された場合は、 [P.99] をご覧ください。



# モニターの角度を調整する

## 1 TILT を押す。

: TILT / EJECT 画面が表示されます。

## 2 DOWN または UP をタッチする。

※モニターの角度を6段階に調整できます。

ボタン	内容
DOWN	傾きが大きくなります。
UP	傾きが小さくなります。



**お知らせ** エンジン切る (ACC を OFF にする) と、モニターは自動で閉じ収納されますが、次回、エンジンをかける (ACC を ON にする) と、前回調整した角度でモニターが開きます。

# 走行中の操作制限について

安全上の配慮から走行中に一部の操作や、TV (ワンセグ) 操作などを行うことができません。

## 走行中に制限される機能

ナビモード	メニュー操作	一部のメニューのみ操作可能
	地図スクロール	短押しスクロールのみ可能
	細街路表示 (3 m 以下)	細街路を走行中のみ表示
AUDIO モード	メニュー操作	一部のメニューのみ操作可能
	TV (ワンセグ) 視聴	映像は表示されず、音声のみ

# SDメモリーカードについて

本機では、SDメモリーカードを使用して下記のことができます。

- 当社ユーザーコミュニティサイト「ナビcafe」の「おでかけ旅ガイド」からダウンロードした、おでかけスポット・おでかけプランの利用
- 本機で登録している登録地点情報のバックアップ／リストア、エクスポート／インポート
- まっぴるコード(MGコード)更新データの利用
- パソコンを使ってSDメモリーカードに保存した音楽ファイル(MP3/WMA)の再生

■本機は、SD規格に準拠したSDHCメモリーカード(32 GB以下)\*とSDメモリーカード(2 GB以下)に対応しています。それ以外のSDメモリーカードは使用できません。

microSDHCメモリーカード\*、miniSD／microSDメモリーカードも使用できます。

\*印…SDHCロゴのある(SD規格準拠)カードのみ使用できます。

■SDメモリーカードは、パソコンで「SDフォーマッター」(フォーマットソフトウェア)を使って初期化してから使用してください。

専用フォーマッターについて、詳しくは下記サイトをご覧ください。

[http://panasonic.jp/support/sd\\_w/download/](http://panasonic.jp/support/sd_w/download/)

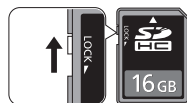
(URLは予告なく変更になる場合があります。)

## お知らせ

- 本書では特にことわりのない限り、上記のメモリーカードを「SDメモリーカード」と総称して表記しています。
- 無線LAN内蔵のSDメモリーカードは使用できません。

## SDメモリーカードの取り扱い

- SDメモリーカードに書き込むときは、書き込み禁止スイッチを解除してください。
- SDメモリーカードでデータを読み書きしているときに、SDメモリーカードを取り出したり、電源を切ったりしないでください。
- 長時間使用すると、SDメモリーカードが温かくなっている場合がありますが、故障ではありません。
- SDメモリーカードには寿命があり、長期間使用すると書き込みや消去などができなくなる場合があります。
- SDメモリーカードが不良品の場合、正常に動作しない場合があります。
- データ消滅による損害については、当社は一切の責任を負いかねます。
- 次のことをお守りください。
  - ・ 本機から取り出したら、必ずケースに収納する
  - ・ 裏面の端子部を手や金属で触れたり、汚したりしない
  - ・ 貼られているラベルをはがさない
  - ・ シールやラベルを重ねて貼り付けない
  - ・ 強い衝撃を与える、曲げる、落とす、水に濡らすなどしない



## お願い

microSDメモリーカードなどを使用する場合は、必ずカードに付属の専用アダプターを装着してください。取り出すときも、必ずアダプターごと取り出してください。

# CDやSDメモリーカードを入れる／取り出す

## 1 [TILT] を押す。

：TILT / EJECT 画面が表示されます。

## 2 [DISPLAY - OPEN] をタッチする。

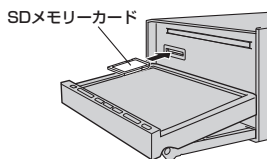
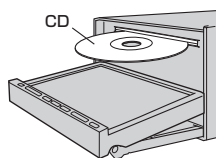
：モニターが開きます。



### ■ CD / SDメモリーカードを入れる場合

#### ① CD / SDメモリーカードをそれぞれの挿入口に挿入する。

※SDメモリーカードはラベル面を上にして挿入し「カチッ」と音がするまで差し込んでください。



※挿入すると、自動的にモニターが閉じます。

### ■ CDを取り出す場合

#### ① [DISC - EJECT] をタッチする。

：CDが排出されます。

※排出されない場合、[TILT] を長押し(約10秒)すると強制的に排出することができます。

#### ② [TILT] を押す。

：モニターが閉じます。



### ■ SDメモリーカードを取り出す場合

#### ① SDメモリーカードを1回押して取り出す。

#### ② [TILT] を押す。

：モニターが閉じます。

### お知らせ

- モニターが開いたまま、ACCをOFFにした場合は、自動的にモニターが閉じます。
- CDを挿入すると自動でCDの再生がはじまります。